



2022年10月28日

各 位

上場会社名 大平洋金属株式会社
代 表 者 代表取締役社長 青山 正幸
(コード番号 5541 東証プライム市場)
本店所在地 東京都千代田区大手町一丁目6番1号
問合せ先 取締役常務執行役員 松山 輝信
(TEL 03-3201-6681)

電気炉の溶融物漏出事故について(第3報)

2022年3月29日(火)18時20分頃発生した当社八戸本社・製造所(青森県八戸市)の電気炉の溶融物漏出事故について、生産再開の見通し及び2023年3月期通期連結業績への影響額の見通しを下記の通りお知らせいたします。

記

1. 生産再開の見通し

溶融物が漏出した電気炉1基の復旧に関して、ニッケル需給に緩みが見られること、また、ステンレス生産者は、生産コストを含めて価格優位性のあるニッケル銑鉄へ一部調達をシフトしており、ニッケル銑鉄の価格は当社の販売価格へも影響する環境になっていることから、一定の収益性を損なわない戦略的な数量の抑制へ方針をシフトしたため、当連結会計年度第3四半期に見込んでいた操業再開は翌連結会計年度へ変更いたします。事業環境を注視しつつ、数量抑制方針を解除した段階で立上げいたしますが、当連結会計年度第3四半期中には、生産設備自体の復旧は可能な状態まで整備する見込みです。

なお、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 2023年3月期の業績に与える影響額の見通し

生産設備関係について、復旧費用及び保険金の受取額等を現時点で合理的に見積ることは困難な状況ですが、当社において、一定の前提に基づき試算しました結果、2023年3月期通期連結業績に与える影響は軽微であると見込まれます。

なお、数量面については、「1. 生産再開の見通し」のとおりですので、詳細は本日2022年10月28日付「営業損失(棚卸資産の簿価切下げ額)の計上、営業外収益(持分法による投資利益)の計上及び業績予想修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上